



のびゆく北谷っ子



新年の目標 それは未来の夢への道しるべ 校長 小林 央士

新年あけましておめでとうございます。令和7年も、北谷小学校の教育活動にご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

昨年度より、北谷小学校では基礎的・基本的な学力（数値で測れる学力）の育成に加え、その土台となる非認知能力（数値で測れない学力）＝たくましく生きる力（やりぬく力・おちつく力・つながる力）の伸長に全校で取り組んでまいりました。

昨年11月9日（土）の学習成果発表会以後、全校児童のたくましく生きる力について二度目のオンラインアンケートを実施したところ、以下のことが明らかになりました。

- ① 「やりぬく力（意欲・向上心）」はすべての項目で5～9%の上昇が認められた。
- ② 「おちつく力（自制心）」は「廊下や階段を走らない」「時と場所に合った行動ができる」についてそれぞれ4%の向上、「いらいらしてもクールダウンできる」に6%の向上がみられた。
- ③ 「つながる力（コミュニケーション力）」についてはやや下降傾向がみられた。

もともと数値が高かったものの、「つながる力」の伸長については、今後の課題です。しかし、「やりぬく力」「おちつく力」について全校で上昇がみられたのは大きな成果となりました。

この三つの力は、子供たちの、未来のなれる職業の選択を広げます。例えば、こんな仕事です。

昨年12月、大きな飛行機事故が続きました。アゼルバイジャン航空の旅客機の墜落、そして韓国チェジュ航空の着陸の失敗です。双方とも多数の犠牲者を出す痛ましい事故となりました。

その一方、昨年1月2日に日本の羽田空港で着陸したJALの旅客機が滑走路で海上保安庁の航空機と衝突した事故です。操縦士や客室乗務員の方々の働きにより乗客乗員379人全員が脱出できたことは世界中から「奇跡の脱出劇」として称賛されました。

このことから、操縦士（パイロット）という仕事について調べてみたいと思いました。ここでは航空会社の運航する旅客機を操縦する「定期運送用操縦士」について絞ってお話します。

航空機を操縦するには、国家試験を受けて合格し、国土交通大臣の航空従事者技能証明を受けることとなります。そのためには、例としてまず高校を卒業して、私立大学のパイロット養成コースや専門学校の操縦科で必要な勉強や飛行訓練を行い、卒業までに資格を取得することが必要です。操縦士国家試験は学科試験と実地試験からなり、英語が必須である等多くの知識・技能が必要なことはもちろん、試験を受けるまで1500時間以上の飛行訓練を受けなければなりません。

また、費用も高額で私立大学のパイロット養成コースでは、卒業までに約1700万～2800万円かかるといわれます。操縦士までの道のりは長く困難で、心身ともにハードな日々を過ごすこととなりますが、こう思う方が多いそうです。「同じ夢をもつ仲間と一緒に乗り越えられた。」

操縦士になってからも、乗客の安全のため絶えず訓練が続きます。操縦の技量を維持するために特定操縦技能審査を2年ごとに受けなければなりません。そのために航空会社では定期的訓練が行われています。また、厳しい自己管理が求められ常に心身ともに健康でなければなりません。

しかし、現役操縦士の方々は口を揃え、このような喜びをいわれるそうです。

「空からの素晴らしい景色をみられることは何よりの喜びです。」「毎年行われる航空祭で、多くの子供から『ぼくもお兄さんのようなパイロットになる！』といわれるのが本当に嬉しいです。」

そして、パイロットとして大事な資質について、このようにおっしゃるそうです。

「なりたい自分になるために、なりたいという気持ちを持ち続け、自分を信じて努力すること。」

「人間性、向上心、健康管理。そしてわからないことを『わからない』という素直な心。」

「フライトは、チームですもの。相手の気持ちを尊重して、チームをまとめる力。」

本校で大切にしている「やりぬく力」「おちつく力」「つながる力」に通じるものがあります。

未来は今いる場所と地続きだということを思い、改めて新年に夢をもつこと。そして、毎日の「当たり前」に、粘り強く真摯に取り組んでいくこと。それこそが未来への道しるべです。三学期も、子供たちのがんばりを支援して参ります。宜しくお願いいたします。（※ デイコ職「パイロットの一日」）



1月の行事予定

日	曜	行事予定
1月		生活目標 気持ちのよい あいさつをしよう 保健目標 早ね・早おきをしよう
1	水	元日 冬季休業日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	第3学期始業式 特別日課3時間授業 一斉下校
8	水	3時間授業 発育測定(6・5年)
9	木	給食開始 3・4年5時間授業 委員会活動 発育測定(3・4年)
10	金	発育測定(2・1年・少)
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	
15	水	クラブ活動
16	木	避難訓練 かがやきタイム
17	金	花の子相談日
18	土	
19	日	
20	月	読み聞かせ(5年) 仲良しアンケート
21	火	ふれあいデー
22	水	クラブ活動
23	木	
24	金	入学説明会
25	土	
26	日	
27	月	読み聞かせ(3・4年) スクールカウンセラー来校
28	火	
29	水	委員会活動
30	木	
31	金	

※毎月21日あるいはその前後を「ふれあいデー」としています。1月のふれあいデーは21日(火)です。ふれあいデーの際には、職員は16:50に退勤するため電話等に対応することができません。ご了承くださいませ、よろしくお願いいたします。



食育！五大栄養素について（5年）

12月4日(水)、学校栄養士の先生をお招きし、5年生が五大栄養素について詳しく学ぶ「栄養指導教室」に参加しました。料理の材料となる食材一つ一つにどんな栄養があるのか、どのグループに分類されるのかを考えていき、栄養バランスを意識して食事をする大切さを学びました。間違いやすい食材もあり、説明に納得しながら知識を深めていました。



第3回授業研究会

12月6日(金)、東部教育事務所並びに吉川市教育委員会の先生方にご来校いただき、本校の研究課題である国語科を中心とした授業に対するご指導をいただきました。全学級の公開授業と1年2組、4年2組の研究授業をご参観いただき、児童主体の授業づくりの工夫等について評価をいただきました。ご指導いただいた内容を今後の更なる授業改善に活かしていきます。



南中学校区合同学校保健委員会

12月4日(水)に、南中学校区で取り組んでいる小中一貫教育の一環として、合同保健委員会を実施しました。色彩心理診断士 ライフカラーセラピストの先生に「色からわかる私の心、あなた心」と題して、選ぶ色から心を理解したり、どんな色を与えることで安心させたりすることができるのか、などについてお話いただきました。北谷小保護者の方々にもご参加いただきました。その時々々の声の掛け方にも色がもたらす心理的効果を活用すると、伝わり方が変わると教えていただきました。



消防・救急自動車見学体験（3年）

12月12日(木)、吉川松伏消防組合の皆様にご来校いただき、3年生が消防車と救急車の見学体験を行いました。普段近くでは見られない消防車と救急車を目の前にして、興奮気味に見学したり説明を聞いたりしていました。質問タイムでは、子供達の様々な質問に答えてくださり、消防服を着る体験もできました。新しい発見や気づきを得られた思い出に残る1日となりました。



校内書きぞめ競書会

11月から約1か月に渡って練習してきた成果を発揮しようと、みんな真剣な表情で集中して取り組んでいました。一字一字の特徴と全体のバランスを考えた上で、心を込めて丁寧に仕上げました。



3学期授業参観について

2月14日(金)、5校時(午後1時40分～午後2時25分)に3学期の授業参観を実施する予定です。名札・スリッパ・靴袋をご持参ください。また、お車でのご来校・周辺への駐車は絶対におやめください。詳細につきましては、後日配付されるお知らせをご覧ください。

家庭学習へのご協力ありがとうございます

低学年を中心に、家庭学習の〇付けにご協力をいただいている場合がございます。ご協力くださっている保護者の皆様、大変ありがとうございます。

お子さんが今取り組んでいる学習内容や、その定着の度合いについてご理解いただくことで、学校と家庭が連携して、お子さんの学力を伸ばすことが主なねらいです。ご協力が難しい場合は対応いたしますので、お手数ですがご連絡ください。